

末吉橋ニュース 第2号

発刊：横浜市道路局橋梁課、大成・東洋建設共同企業体



仮橋を支える鋼管杭の打ち込みを進めています

写真は、クレーン台船を用いて、仮橋の土台となる杭を河床に打ち込んでいる状況です。鋼管杭の大きさは直径60cm、長さ40mで、合計70本以上の杭を打ち込みます。手前にある杭は打ち込みが完了したもので、奥にある杭は施工中のものです。全部の杭の打ち込みが完了すると、杭の上に桁を設置する工事を進めます。

～工事の進捗状況について～

現在、仮橋・作業構台の杭を設置する工事、護岸に鋼製の板を打ち込む工事を進めています。作業に伴い、堤防道路を一部通行止めになっています。（5月末まで通行止め予定。）仮橋・作業構台工事や護岸改良工事は2020年度下半期には完成する予定であり、完成後は、車道・歩道の通行を仮橋に切り換えます。



【工程表（2020年3月～7月）】

工種	2020年				
	3月	4月	5月	6月	7月
仮橋・作業構台設置工					
護岸改良工					

【護岸改良工の流れ】



<ステップ1>

護岸を支えるための鋼製の梁・杭を河川内に設置します。



<ステップ2>

梁・杭の設置後、護岸表面のコンクリートを重機を使い撤去します。



<ステップ3>

コンクリートを撤去した部分に鋼製の板を打ち込みます。



<ステップ4>

鋼製の板を筒状に打ち込んだ後、その内側の地盤を改良し、強度を高めます。

～工事の進捗状況について～

【仮橋・作業構台設置工（杭打設工）の流れ】

<ステップ1>



杭を所定の位置に打ち込むために、事前に鋼製の枠を設置します。

<ステップ2>



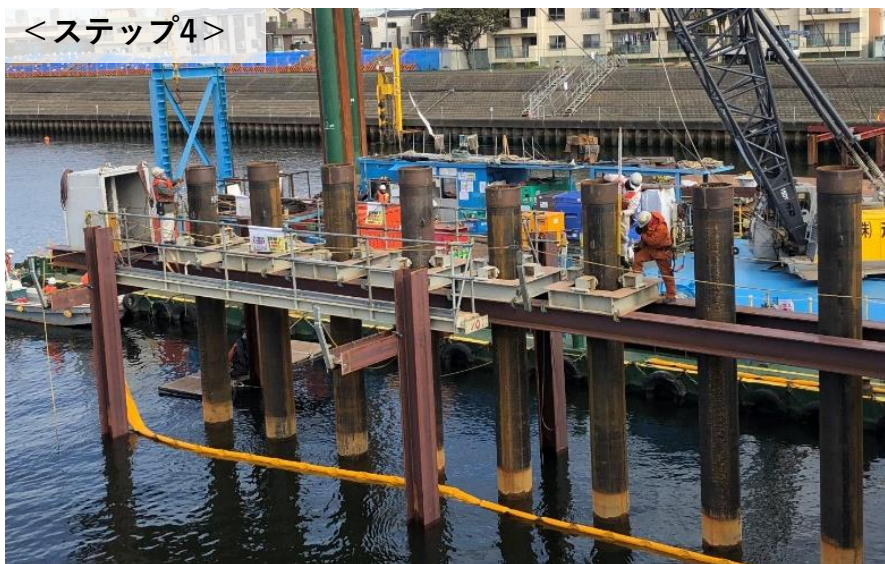
クレーンを用いて鋼管杭を所定の位置にセットし、1本ずつ打ち込んでいきます。

<ステップ3>



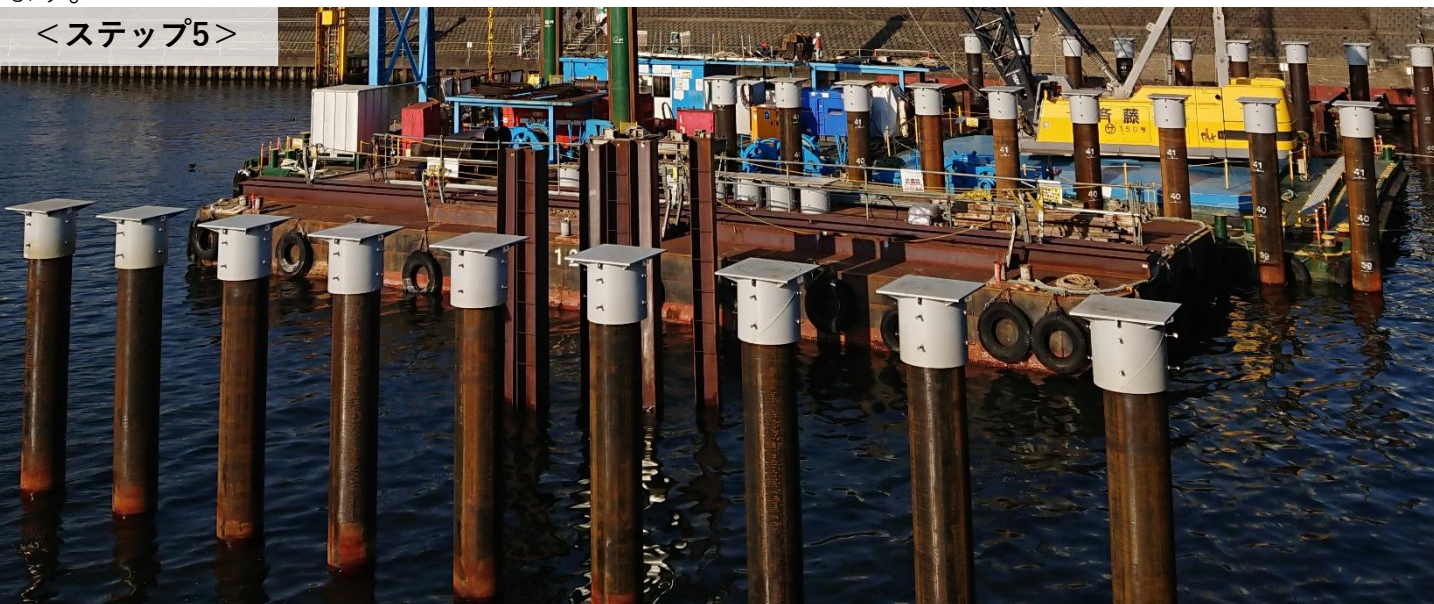
杭は2本の杭を繋いで1本の杭になります。下側の杭の打ち込みが終わると、上側の杭を溶接で繋ぎ、再び打ち込みます。

<ステップ4>



杭の打ち込みまで完了した状況です。

<ステップ5>



枠を撤去し、桁と接続するために必要となるキャップを杭の先端に取り付け、杭の施工は完了です。

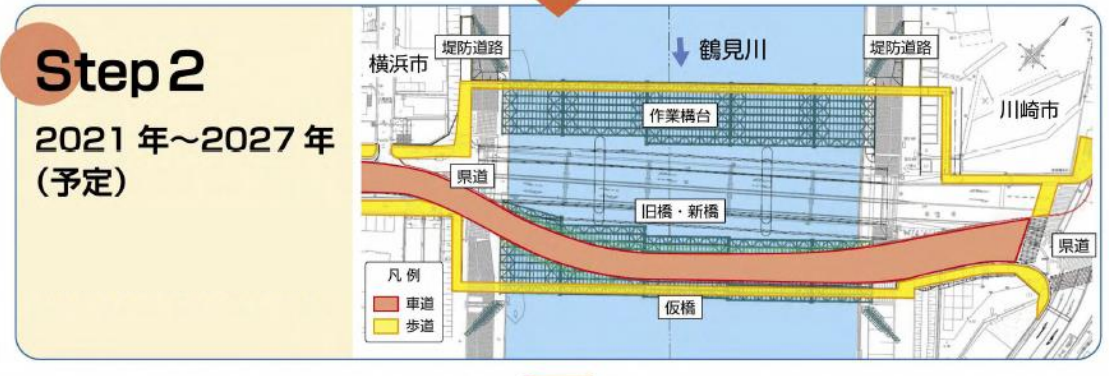
～末吉橋架替事業について～

末吉橋は、建設から60年以上が経過し、老朽化が進行しているとともに、橋の幅員が狭いことから、慢性的な渋滞の発生や歩行者の安全な通行に課題があります。このことから、横浜市と川崎市の共同事業として、架替事業を進めています。

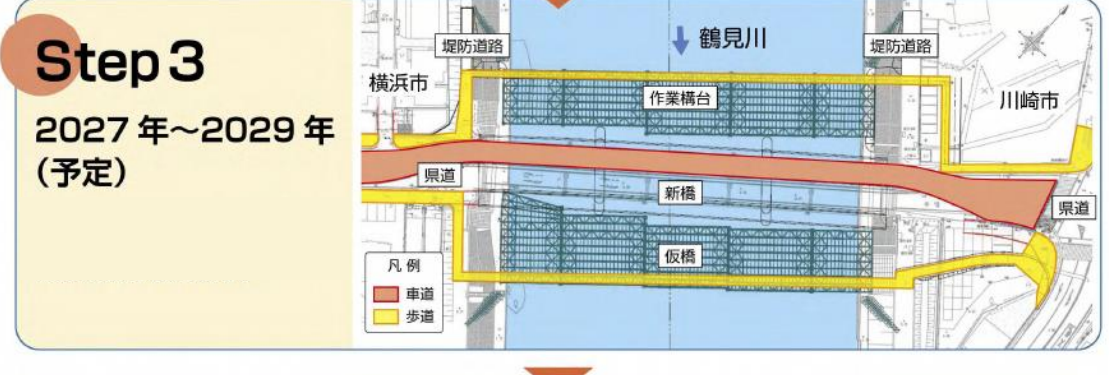
架替事業は、河川内での作業が、降雨量の少ない11月から5月に限定されること、また、通行機能を確保するため、仮橋を設置してからの架替工事となることから、工期が10年間となります。



旧橋の下流側の一部を撤去するため交通を切り換えます。



旧橋撤去、新橋構築のため、仮橋に交通を切り換えます。



新橋の下流側の桁架設のため、交通を切り換えます。



新しい橋が完成します。

お問い合わせ

●横浜市道路局橋梁課 末吉橋担当
住所：横浜市中区港町1-1
電話：045-671-2789
FAX：045-662-3945

●大成・東洋建設共同企業体 末吉橋架替工事作業所
住所：横浜市鶴見区上末吉4-7-12
電話：045-717-8711
FAX：045-717-8712

事業に関する情報を横浜市道路局のホームページに掲載していますので、あわせてご確認ください。

末吉橋 架替

検索